

2023

謹賀新年



一般社団法人 北海道電業協会
会長 阿部 幹司

皆さま、明けましておめでとうございます。
令和五年の年頭にあたり、謹んで

新春のお慶びを申し上げます。

会員ならびに関係者の皆様には当協会の活動に対し、日頃から多大なご支援・ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染者が一時的に増加し憂慮される状況もありましたが、久しぶりに経営者懇談会を開催するなどコロナ感染状況を見ながら協会活動を再開いたしました。全国大で感染症抑制と経済活動の両立が進められる中で、個人消費の増加など景気は緩やかながら持ち直している状況にあります。しかし、

北海道は全国に比べて、生産活動や公共事業などが弱含みになってい

ます。世界的な感染症対策による生産活動の停滞や流通網混乱、さらには国際的な政情不安による資機材価格の上昇や物価高も景気を持ち直しの影響しており、当業界にも影響が及んでおります。

これからも、物価高等による事業リスク低減に向け、関係者の皆さまと連携を図ってまいります。

また、夢と生きがいのある電設業界を目指して、令和六年四月からの「働き方改革」にも、しっかりと取り組むとともに、未来を担う人材を確保・育成する活動を継続してまいります。

さらには、顧客満足度の高いサービスが提供可能な「分離発注」の浸透を推進するとともに、カーボンニュートラルに向けた戦略的対応やDXの推進による生産性向上などに挑戦し、魅力ある業界を目指してまいります。

北海道は、多様な再生可能エネルギー資源に恵まれており、その未利用資源を開発していくことがカーボ

ンニュートラル実現には必要となります。

豊富な再生エネの地産地消を可能とする分散型エネルギーシステムの構築のほか、再生エネの連系に向けたインフラ整備、余剰エネルギーの貯蔵や輸送環境整備について、道内企業が中心となりその役割を担うことが求められます。

なかでも当業界は、電気設備等を建設し維持管理することで地域社会に貢献していく役割を担っており、今後、益々その役割は増大するものと思われれます。

持続可能性に満ちた（サステイナブルな）業界を目指して、協会活動を行ってまいりますので、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、この一年の皆さまのますますのご繁栄とご活躍をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

